

3 複式学級学習指導計画例の作成

(1) 趣 旨

年次計画により、本県の実態に既応した小学校、音楽科、
図画工作科の複式学級学習指導計画例を作成し、複式学級の
学習指導の充実・改善に努め、へき地・過疎地域の教育
振興を図ることを目的としている。

(2) 作成年次計画

年 度	48	49	50	51	52
教 科	国 語 社 会	算 理 数 科	音 楽 図 工	体 育 道 徳	家 庭 特 活

(3) 作成会議

- 第1回 5月6日(火)～7日(水)
- 第2回 7月2日(水)～3日(木)
- 第3回 9月25日(木)～26日(金)
- 第4回 11月5日(水)～6日(木)

(2) 期日・会場

期 日	2月23日～24日	2月25日～26日	3月1日～2日	3月3日～4日
会 場	会津若松合同庁舎	原町合同庁舎	郡山合同庁舎	埴町公民館
参 加 者 数	80	20	30	25

(3) 内 容

- へき地教育の動向について
- 複式学級学習指導の原理について
- 複式学級学習指導計画例の活用について

5 シート式磁気録音機等の購入補助

複式学習指導の能率化と設備の充実を図るため、シート
ート式磁気録音機、オーバーヘッドプロジェクターの購入費の
うち、2分の1額を限度として、録音機18台、再生機36台、
OHP10台分に補助した。

6 県外短期研修

へき地校に勤務する教員の資質向上を図るため、全国へき
地教育研究大会、へき地教育指導者講座、へき地教育優良校
視察等に参加する機会を設け、ややもすると見解が狭く、消
極的になりがちなへき地勤務教職員の視野を広め、士気の高
揚に役立てた。

⑤ 参加者

部 会	氏 名	勤 務 校	研 究 課 題 (分科会)
算 数	田 中 実	福島市立平石小学校	へき地複式における算数科の指導はどうあるべきか
	稲 垣 正 弘	いわき市立石住小学校	
理 科	渡 辺 金次郎	いわき市立小川小学校戸渡分校	へき地、複式校における理科の指導はどうあるべきか
体 育	金 田 充 夫	福島県教育センター	へき地小規模校における体育科の指導はどうあるべきか
学校経営	小 池 昭	義務教育課	へき地性を克服する教育はどうあるべきか

(4) 作成委員会及び配布

作成委員は、現場担当教師及び指導主事をもって構成し、
現場教師は公立小学校教諭で複式学級担当経験者で専門的
識見を有し、執筆能力のあるもの。

音楽科6名、図画工作科6名、教育事務所指導主事2名
義務教育課担当指導主事等で委員会を構成し、複式指導計
画例を作成した。

作成後は、複式学級及び3個学年複式学級を持つ学校
181校並びに担当者、市町村教育委員会、各関係機関に配布
し、複式学級学習指導の改善に役立てた。

4 複式教育課程研究協議会

(1) 趣 旨

複式学級学習指導計画例をもとに、複式学級担当者を対
象として研究協議し、複式学級学習指導改善の一助並びに
へき地・過疎地域の教育振興と指導者の資質並びに児童の学
力向上を図る。

(1) 全国へき地研究大会

① 趣 旨

へき地における小学校及び中学校の学校経営・学習指
導と生徒指導の諸問題について研究協議をするとともに、
全国各地におけるへき地教育の状況について理解を深め、
研究成果を交換することによって、へき地教育の充実を
図る。

② 期 日

昭和50年10月22日(水)～29日(金)

③ 会 場

分科会場 広島県下 13会場
全体会場 広島市公会堂

④ 研究主題

新時代を開発し、主体的、創造的に生きる子供の育成
—— へき地小規模学校の特性を生かす学校・学級
経営と学習指導のあり方を求めて ——